

施策分析シート（平成19年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名	区民生活部文化交流推進課		
関連部課名							
行政評価	分野	文化創造都市[]					
事業体系	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]					
目的	活力に満ち魅力ある地域社会を実現するため、国内・海外都市との幅広い交流を積極的に推進する。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)	
	交流都市に対する区民の認知度	-	-	-	-	50%	イベント等の機会を利用し、調査を行う。
	交流事業に対する区民の認知度	-	-	-	-	50%	同上
	交流都市への区民の訪問状況	28,662	26,651	27,984	29,000	30,000	バスツアー、施設利用、合宿、青少年農・漁業体験事業の実績数
国際交流協会会員数	416	447	406	450	900	賛助会員数 + 協力会員数	
現状と課題（指標分析）	<p>1 現在、国内18都市、海外4都市との間で交流を行っているが交流の深さには差がある。各都市の交流資源を掘り下げ、区民が主体となった実りある交流を展開する必要がある。</p> <p>2 区内のスポーツ団体、文化団体の活動の場として交流都市を活用することにより、団体の活性化と各都市との交流の促進という二つの目的を実現することを目指す。</p>						
今後の方向性	[平成19年度]						
	<p>1 都市ごとに交流の展望や目標を明確にし、継続性のある交流事業を行っていく。</p> <p>2 都市間交流を積極的に展開するため、庁内推進体制の拡充を図る。</p> <p>3 区民の多文化共生意識を育むため、荒川区国際交流協会に対する支援を強化する。</p>						
	[平成20年度以降]						
	区内の地域団体が国内・国外の交流都市との交流に継続的に参加することを支援する体制を整備する。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	区民の国際理解推進のために欠かせない施策であるとともに、文化振興の観点からも、重要な役割を担っている。

施策分析シート（平成19年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		17年度	18年度	前年度 設定	今年度 設定	
国内都市交流事業	03-02-02	238	528	A	A	交流資源を掘り下げ、区民主体の事業を展開する。
国際交流協会補助	03-02-03	4,864	11,632	A	A	区民主体の国際交流の推進母体として支援が必要である。
海外都市交流事業	03-02-04	9,207	14,395	A	A	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業である。
国際交流高校生サミット	03-02-05	-	-	-	B	交流事業の活性化につながる事業である。（周年事業）
合 計		14,309	26,555			